

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	各種お問い合わせ ☎ 0120-782-031 (通話料無料)
(ホームページURL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	東京都において発行する日本経済新聞に掲載する方法により行います。

- **住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について**
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- **未払配当金の支払いについて**
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- **配当金計算書について**
配当金お支払いの際に送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用頂くことができます。
ただし、株式数比例配分方式をご選択頂いている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いします。
なお、配当金額取証にて配当金をお受け取りの株主様につきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させて頂いております。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。
- **特別口座について**
株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、左記の電話照会先をお願いいたします。

単元未満株式(1~99株)の買取・買増請求制度のご案内

当社株式の証券市場での取引は100株単位となっており、単元未満株式(1~99株)を市場で売買することはできません。当社では、「単元未満株式の買取請求制度」および「単元未満株式の買増請求制度」を採用しておりますので、ぜひお手続きください。また、お手続きの詳細につきましては、上記株主名簿管理人までお問い合わせください。

● 買取・買増制度の例(170株ご所有の場合)



日鍛バルブ株式会社

〒257-0031 神奈川県秦野市曾屋518番地
TEL:0463-82-1311 FAX:0463-82-7413

UD FONT

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



環境に配慮した「植物油インキ」を使用しています。

日鍛バルブ株式会社

証券コード：6493

NITTAN VALVE REPORT 第94期 報告書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

INDEX

株主の皆様へ 01

セグメントの概況 03

特集 05

連結財務情報 07

株式情報／会社情報 09

事業拠点 10

CHALLENGE, CREATION, SPEED

挑戦、創造、スピードをモットーに、
時代のニーズを先取りした
高品質な製品をご提供します。



はじめに先般の熊本地震により被災されました皆様に対しましては、心よりお見舞い申し上げます。

当社第94期(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)が終了いたしましたので、ここに決算と主要項目につきましてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 **金原 利道**

決算ハイライト

売上高
42,494百万円
前年度比 610百万円(1.4%)減

営業利益
3,124百万円
前年度比 507百万円(19.4%)増

経常利益
3,140百万円
前年度比 60百万円(1.9%)減

親会社株主に帰属する当期純利益
953百万円
前年度比 295百万円(44.8%)増

※記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

当期の市況について

当連結会計年度における国内経済は、企業収益や雇用情勢の改善など景気は緩やかな回復基調が続きました。先行きについては、引き続き回復に向かうことが期待されるものの、海外景気の下振れリスクや為替・株価の変動影響に留意する必要があります。一方、世界経済は、中国やその他新興国の経済の先行き、原油価格下落の影響などに留意する必要があるものの、全体としては緩やかに回復しております。

また、当社グループが関連する自動車業界におきましては、国内市場は軽自動車税の増税影響等により低調となりました。海外市場は北米における需要拡大や欧州の回復などを背景に概ね堅調な推移となりました。

当期の取り組みおよび業績について

当社グループは、「基盤強化」、「永続的発展」、「企業風土改革」を柱とする経営方針を掲げ、国内外で競争力を高める施策を積極的

に展開してまいりました。

当連結会計年度の業績につきましては、国内事業は、四輪車用の中空エンジンバルブの量産開始による増加要因はあったものの、既存の小型エンジンバルブおよび可変動弁の受注減が影響し前年度に比べ減収となりました。海外事業は、北米・中国における生産拡大やベトナム子会社の量産開始などの増加要因はあったものの、台湾・インドネシアにおける受注減や為替の影響等により海外事業全体では減収となりました。この結果、売上高は、424億94百万円(前年度比1.4%減)となりました。

次期業績の見通し

当社グループがもっとも影響を受ける自動車業界、二輪車業界につきましては、国内需要に関して消費の低迷が続くと予想されますが、北米市場およびアジア地域での持続的な成長を見込んでおります。次期の連結業績見通しにつきましては、売上高は426億円(前年度比0.2%増)、営業利益は37億500百万円(前年度比20.0%増)、経常利益は38億円(前

損益面につきましては、国内事業および一部海外事業の受注減影響や海外子会社立ち上げコスト発生等の減益要因はあったものの、北米の回復や欧州・ベトナムの黒字化に伴う増益等により、営業利益は、31億24百万円(前年度比19.4%増)となりました。経常利益は、為替差損の計上により減少し、31億40百万円(前年度比1.9%減)となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、前年度に比べ特別損失の計上が少額であったことなどから増加し、9億53百万円(前年度比44.8%増)となりました。

年度比21.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は17億円(前年度比78.3%増)を見込んでおります。

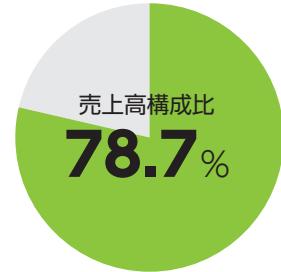
なお、上記業績予想は、現時点での入手可能な情報に基づき、将来の予測が含まれております。したがって、今後の事業運営、経済情勢など内外の状況の変化により実際の業績が予想数値と異なる可能性があります。

■ 第95期の連結業績予想 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	配当予測
第2四半期累計	20,900百万円	1,600百万円	1,650百万円	650百万円	6円00銭
通期	42,600百万円	3,750百万円	3,800百万円	1,700百万円	6円00銭

■ 事業別 (連結) 売上高・セグメント利益

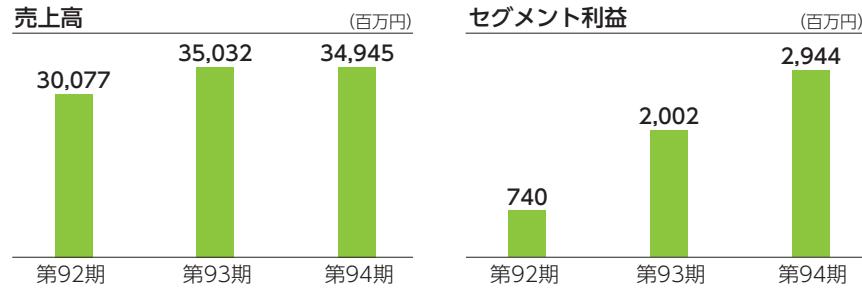
小型エンジンバルブ事業



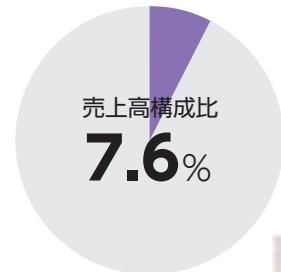
四輪・二輪・汎用製品用
エンジンバルブ



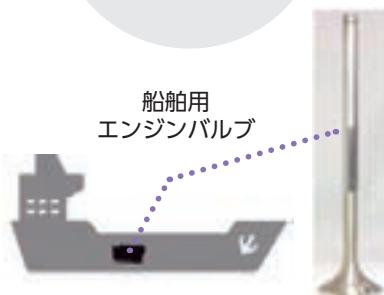
- 国内事業については、四輪車用の中空エンジンバルブの量産開始による増加要因はあったものの、現地調達化、一部製品の海外移管等により減収
- 海外事業については、アジアおよび欧州については受注減や為替の影響等により減収、北米については市場の回復にともなう生産拡大により増収
- 国内・海外の受注減やインド子会社立ち上げコスト発生等があったものの、北米の回復、欧州およびベトナムの黒字化等により増益



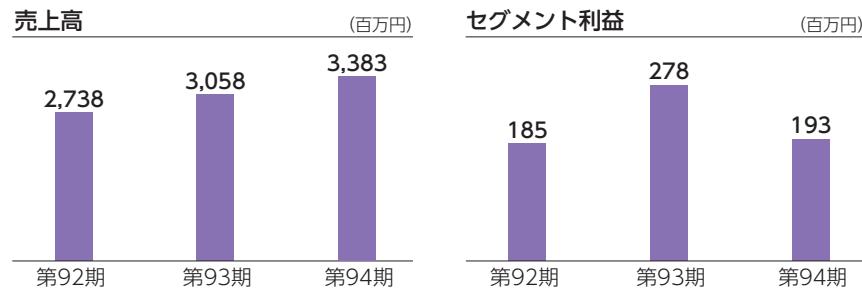
船用部品事業



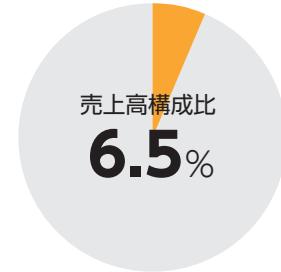
船舶用
エンジンバルブ



- 船舶用および発電機用の組付部品・補給部品が増加したことにより増収
- 損益面については、品質管理強化にともなうコスト増により減益



可変動弁・歯車事業



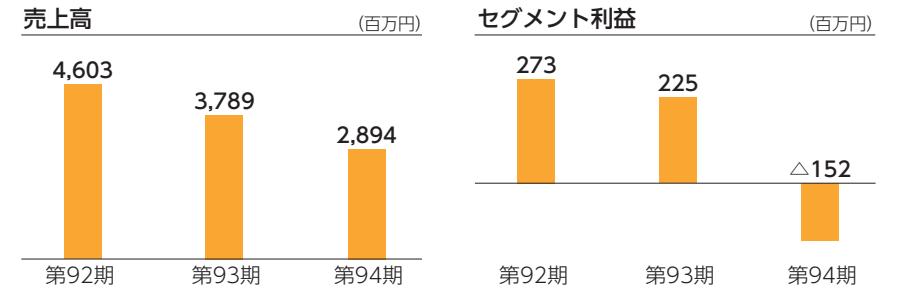
精密鍛造歯車



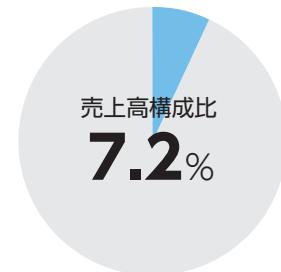
VCP
Variable Cam Phaser



- 可変動弁については、客先のモデル切り替えにともなう受注減少により減収
- 精密鍛造歯車については、中国・欧州向け自動車用製品が増加する一方、産業機械用製品、東南アジア向け自動車用製品が減少し減収



その他事業



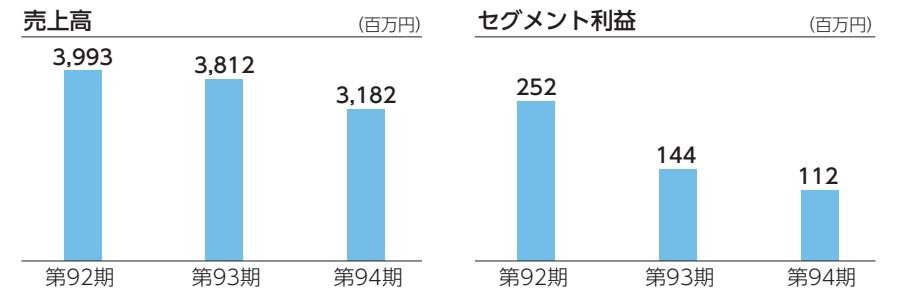
RRA+HLA



DLCタペット



- バルブリフターについては、モデル切り替え等による受注減少により減収
- 工作機械については、グループ内部での取引が減少し減収
- ロイヤルティについては、グループ内部での取引が増加し増収

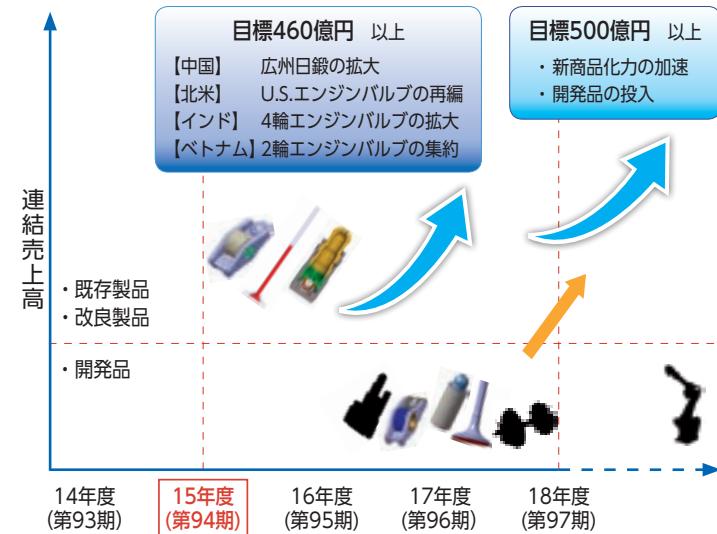


(注)1. 各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高または振替高を含んでおります
2. 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております

“国内・海外事業の収益力を強化し、持続的な企業価値の向上を目指す”

■ 中期経営ビジョン

中期経営戦略が目指すスケール



当社グループが最も影響を受ける自動車業界におきましては、依然として自動車メーカーは現地調達化を展開し、サプライヤーから世界規模で部品調達を行っております。当社は、いち早く顧客ニーズに対応し、積極的な海外展開を行ってまいりましたが、近年では日系部品メーカーの海外攻勢や現地部品メーカーの躍進により、グローバルでの価格競争力、供給力、開発体制が一層求められております。

2015年度（第94期）までは既存製品や傘中空エンジンバルブのような高付加価値製品を確実に供給することで成長を遂げてまいりました。これからの中期3カ年については、各拠点に応じた諸施策を実行することで、国内および海外事業の収益力を強化してまいります。

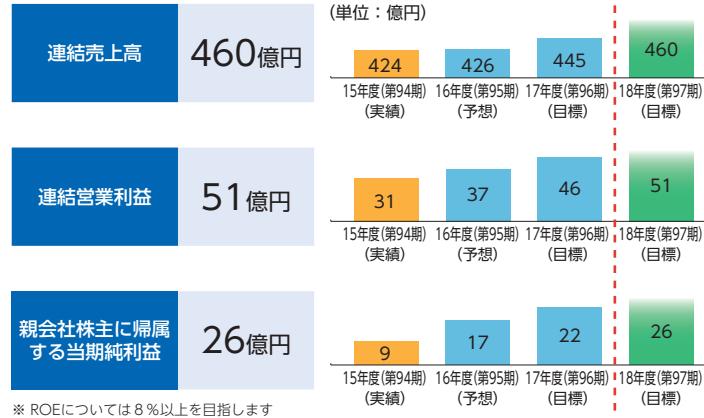
長期的には、顧客ニーズを先取りした新製品開発を加速させ、新市場への挑戦も行い売上げの拡大を目指してまいります（左図参照）。

■ 中期経営計画

当社グループは、2018年度（第97期）を最終年度とする中期経営計画を策定いたしました（右図参照）。

中期経営ビジョンで示しているとおり、国内および海外事業の収益力を強化することを掲げており、その施策として、国内の小型エンジンバルブ事業においては、中空エンジンバルブ事業の着実な生産・供給体制の確立と既存製品の競争力強化を行ってまいります。船用部品事業については補用部品の受注増への確実な対応、可変動弁・歯車事業については、当社の次世代戦略商品の一つであるAT用新機構部品の量産を行ってまいります。また海外事業では、拠点に応じた戦略・諸施策を実行し持続的な成長を目指してまいります。

2018年度（第97期）目標指標



■ 次世代戦略商品

“中空エンジンバルブに続く次世代戦略商品開発を強気に推進”

当社グループは、小型エンジンバルブ事業を柱としておりますが、操業当時より培われている“鍛造技術”・“機械加工技術”を活かし、中空エンジンバルブ以外の商品についても、将来の基幹事業と成り得る次世代戦略商品の開発を継続しております。

また、当社の強みでもある独立系メーカーという持ち味を活かし、多種多様な顧客ニーズに応えるべく、技術提案や開発の初期段階から顧客との共同による開発を行っております。

当社は、2018年度（第97期）を最終年度とする中期経営計画の期間に、中空エンジンバルブに続く次世代戦略商品の開発を強気に推進し、今後の当社の主力製品となるよう取組んでまいります（下図参照）。

新型ローラーロッカーアーム

- 耐荷重性向上
- ニードル同等のフリクション
- 耐久性向上

耐荷重性向上による小型・軽量化でレイアウト自由度の向上に貢献出来る商品



機械式ラッシュアジャスタ

- 極低温作動向上
- 傾斜角制限なし
- オイル供給不要

冷間始動時から作動出来、エミッション低減に有効な設置制限の無いリフター



コンパクト化、低コスト



排ガス改善、低コスト

熱コントロールエンジンバルブ

- エネルギー効率向上
- 燃費向上

エネルギー効率を向上させ、燃費に寄与する新技術中空エンジンバルブとの組み合わせも可能



AT用新機構部品

- 従来機構（電動式）を油圧化！
- 車両レイアウトの自由度を上げる新機構部品

鍛造・加工技術を活用した新商品として量産準備中

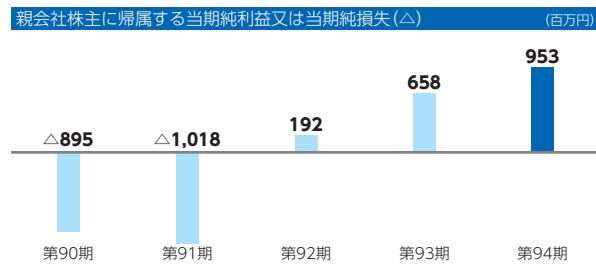
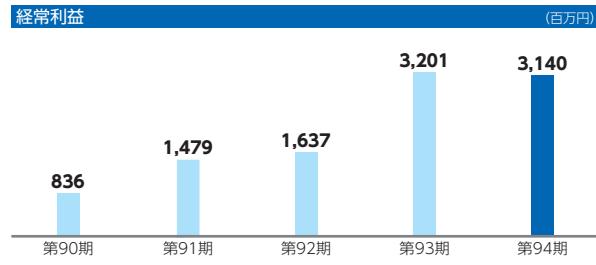
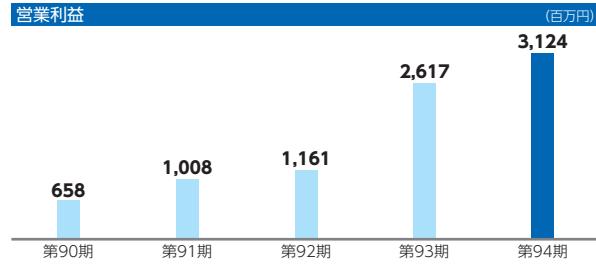
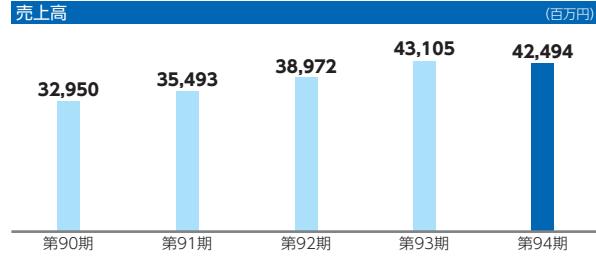


燃費向上 1~2%

軽量化 最大△30%

※従来電動式との比較

■ 連結業績の推移



■ 連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	当連結会計年度 (平成28年3月31日)	前連結会計年度 (平成27年3月31日)
流動資産	21,087	20,194
固定資産	34,745	37,162
流動負債	11,701	12,387
固定負債	12,747	12,101
純資産	31,384	32,867
総資産	55,833	57,356

■ 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	当連結会計年度 平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで	前連結会計年度 平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで
売上高	42,494	43,105
営業利益	3,124	2,617
経常利益	3,140	3,201
親会社株主に帰属する当期純利益	953	658

■ 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

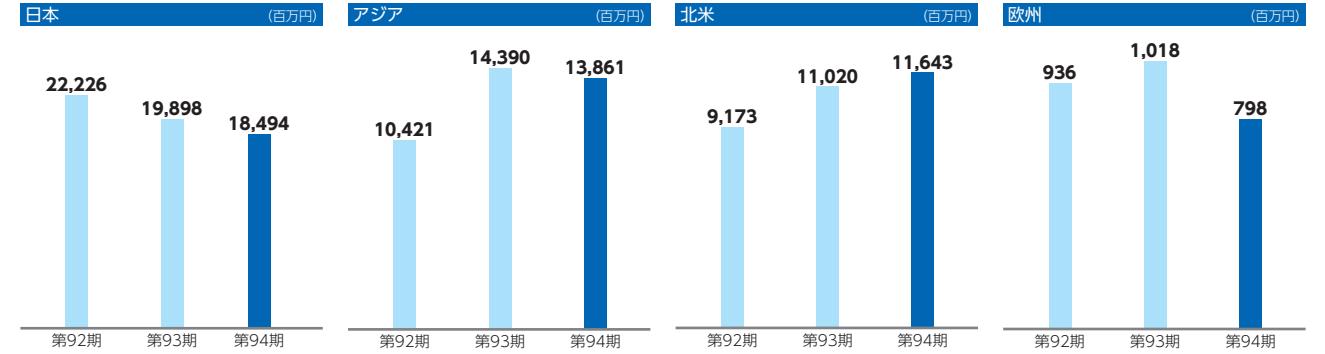
(単位:百万円)

	当連結会計年度 平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで	前連結会計年度 平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで
現金及び現金同等物期首残高	5,250	4,951
営業活動	5,254	3,568
投資活動	△ 3,465	△ 5,568
財務活動	△ 1,006	1,126
為替変動の影響	△ 173	576
新規連結の影響	—	595
連結子会社の決算期変更に伴う影響	△ 130	—
現金及び現金同等物期末残高	5,729	5,250

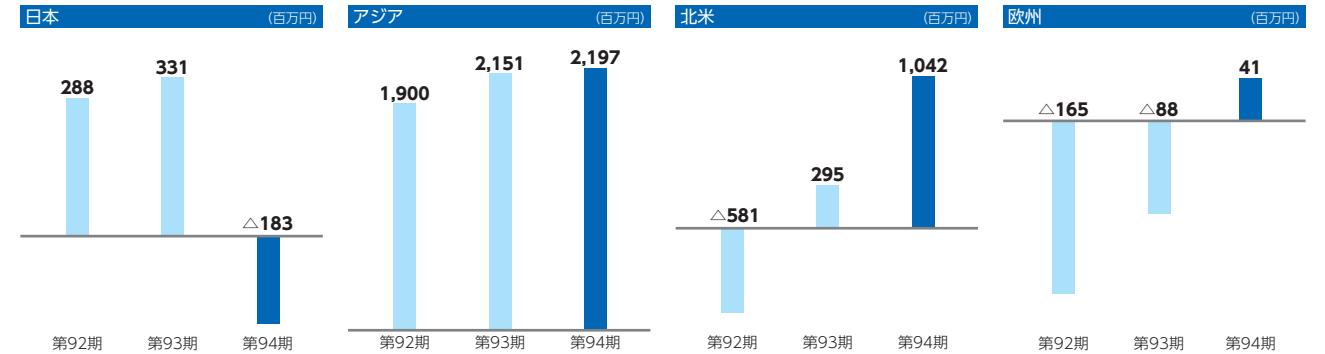
※ 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております

■ 所在地別セグメント

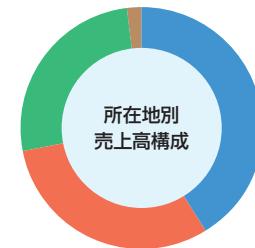
売上高



営業利益又は営業損失(△)



■ 所在地別売上高構成比



- 日本 41.3%
- アジア 30.9%
- 北米 26.0%
- 欧州 1.8%

POINT

- アジアでは、ベトナムの黒字化やその他拠点での生産性向上にともない増益
- 北米では、受注増加に加え過年度からの課題であった生産性回復が軌道に乗り大幅増益
- 所在地別売上高構成比は、前連結会計年度から大きな変化はなく海外比率が依然として高い

株式の状況

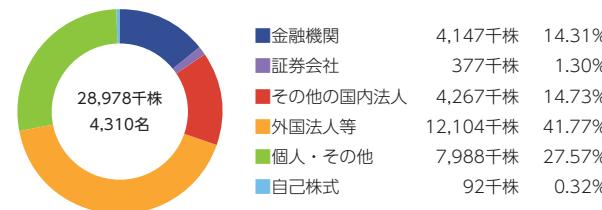
発行可能株式総数	89,000,000株
発行済株式の総数	28,978,860株
株主数	4,310名

大株主 上位10名

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
イトンコーポレーション	8,693	30.00
株式会社横浜銀行	1,302	4.49
本田技研工業株式会社	1,233	4.26
トヨタ自動車株式会社	1,057	3.65
ピーエヌピーパブリセキュリティーズサービスルックセンブルグ/ジャスデック/エフアイエム/ルックセンブルグファンド/ユーシーアイティーエスアセット	930	3.21
日本証券金融株式会社	924	3.19
ロイヤルバンクオブカナダトラストカンパニー(ケイマン) リミテッド	822	2.84
株式会社シンニッタン	517	1.78
株式会社みずほ銀行	472	1.63
ノーザントラストカンパニー(エイブイエフシー) アカウントノントリティー	464	1.60

(注) イットンコーポレーションは所有する当社株式8,693,660株のうち799,800株をメロンバンクトリティーグライアントツオムニバス(常任代理人株式会社みずほ銀行決済営業部)に信託しており、同社名義で株主名簿に記載されています。

株式分布状況



会社概要

会社名	日鍛バルブ株式会社
英文会社名	NITTAN VALVE CO., LTD.
本社所在地	神奈川県秦野市曽屋518番地
設立年月日	昭和23年11月10日
資本金	4,530,543千円
従業員人数	681名
主要な事業内容	下記製品の製造及び販売 ・小型エンジンバルブ(乗用車・二輪車・トラック・バス・汎用製品等のエンジンバルブ) ・船用部品(船舶用エンジンバルブ、汎用製品のエンジンバルブ) ・可変動弁・歯車(自動車用電磁式連続カム位相可変機構、自動車・トラック・農業機械・建設機械・産業機械等の精密鍛造歯車) ・その他(バルブリフター、ローラーロッカーアーム、工作機械製造販売ほか)

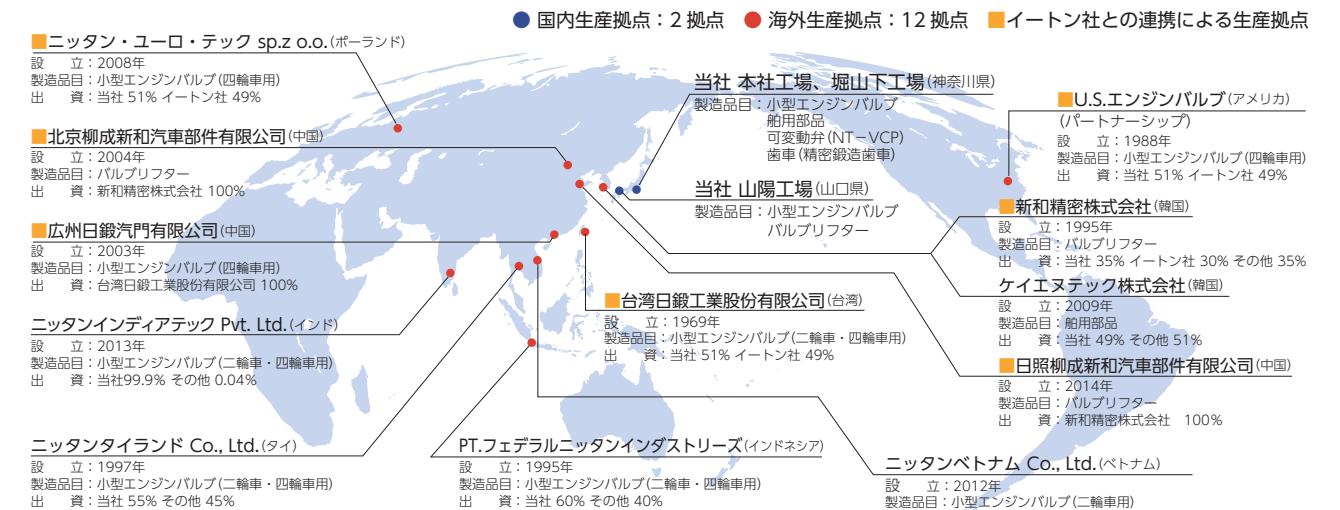
役員一覧 (平成28年6月24日現在)

取締役会長	高橋久雄
代表取締役社長	金原利道
常務取締役執行役員	李太煥
取締役執行役員	中元一雄
取締役執行役員	愛野浩史
取締役執行役員	井上文雄
取締役執行役員	六浦満夫
取締役執行役員	桧村雅人
取締役執行役員	大野浩之
取締役(社外)	木全紀之
取締役(社外)	金岩
監査役(常勤)	菊地浩二
監査役	渡辺博昭
監査役(社外)	村田浩
監査役(社外)	下山秀弥

国内の主要な事業拠点

本社工場	〒257-0031 神奈川県秦野市曽屋518番地 TEL.0463-82-1311 FAX.0463-82-7413
堀山工場	〒259-1304 神奈川県秦野市堀山下183番3号 TEL.0463-89-1177 FAX.0463-89-1178
山陽工場	〒757-0003 山口県山陽小野田市大字山野井字国木1173番20号 TEL.0836-73-1611 FAX.0836-73-1616
東京事務所	〒160-0023 東京都新宿区西新宿8丁目4番2号 野村不動産西新宿ビル2階 TEL.03-5337-3211 FAX.03-5337-3210
中部営業所	〒451-0045 愛知県名古屋市中区名駅2丁目34番20号 CK23名駅前ビル5階 TEL.052-485-6121 FAX.052-562-0500
広島営業所	〒732-0053 広島県広島市東区若草町12番1号 アクティブインターシティ広島11階 TEL.082-258-3125 FAX.082-258-3144

グローバル生産拠点



関連会社 (※連結対象会社)

【国内】 港南通商株式会社*	〒257-0031 神奈川県秦野市曽屋78番地 TEL.0463-81-1172 FAX.0463-82-0338
有限会社秦和商事	〒257-0031 神奈川県秦野市曽屋518番地 TEL.0463-83-0321 FAX.0463-85-1317
ニッタン・グローバル・テック株式会社*	〒160-0023 東京都新宿区西新宿8丁目4番2号 野村不動産西新宿ビル2階 TEL.03-5337-3248 FAX.03-5337-3338
株式会社Shune365*	〒257-0015 神奈川県秦野市平沢183番地10号 TEL.0463-82-1831 FAX.0463-82-5552
【海外】 台湾日鍛工業股份有限公司*	台湾 桃園縣
U.S.エンジンバルブコーポレーション*	米国 オハイオ州
U.S.エンジンバルブ (パートナーシップ)*	米国 サウスカロライナ州
新和精密株式会社	韓国 大邱市
ケイエヌテック株式会社	韓国 慶尚北道
PT.フェデラルニッタンインダストリーズ*	インドネシア 西ジャワ州
ニッタンタイランド Co.,Ltd.*	タイ チョンブリー県
広州日鍛汽門有限公司*	中国 広東省
NITTAN(BVI)Co.,Ltd.*	英領 ヴァージン諸島
北京柳成新和汽車部件有限公司	中国 北京市
ニッタン・ユーロ・テック sp.z o.o.*	ポーランド シロンスク県
ニッタンベトナム Co.,Ltd.*	ベトナム バクニン省
ニッタンインディアテック Pvt.Ltd.*	インド アンドラプラデッシュ州
韓国日鍛株式会社	韓国 ソウル特別市
新和TAKAHASHI PRESS株式会社	韓国 慶尚北道
日照柳成新和汽車部件有限公司	中国 山東省